

「USJETAA JET35 Alumni Reunion」における林大臣ビデオメッセージ

外務大臣の林芳正です。この度の特別な機会に御招待いただき、良き友人であるページ・コッティンガム・ストリーターさん、ジェームス・ギャノンさん、そして主催者の方々に心から感謝申し上げます。日本政府を代表して JET35 Alumni Reunion でお話できることを心から嬉しく思います。

JET プログラムは 1987 年に開始され、以来、世界各国から 7 万人以上の人々を招致してきました。多くの参加国がある中で、米国には約 4 万人の同窓生がおり、米国全土には 20 の同窓会支部があります。JET プログラム参加者の皆さんは、日米間における草の根レベルでの大使として、相互理解の深化に重要な貢献をされてきました。JET プログラム終了後は、今回のイベントで紹介されたように、国際関係、教育、芸術、ビジネスなど幅広い分野で著名なリーダーとなった元参加者も多く、中には在米国日本大使館や米国内の日本総領事館など、日本政府で活躍する人もいます。また、多くの JET 参加者が草の根レベルでの活動に貢献し続けています。数多いこうした貢献の中でも、2011 年 3 月の東日本大震災の後、米国の元 JET 参加者が復興支援のために力を合わせて、寄付金を集めたことは、大変良い例です。私たちは、力強い勇気を与えてくれたこうした友情の証を決して忘れることはありません。長年にわたる日本への貢献と支援に心から感謝します。

本日、日本から帰国したばかりの 20 代の方から、前身である 1980 年代の「米国人英語指導主事助手」として参加していた方まで、世代を超えて参加されているのは、本当に素晴らしいことです。

元参加者の皆様には改めて感謝申し上げます。皆さんは、日本の学生や皆さんが日本で住んでいた地域の人々に英語を学ぶ機会を提供するだけでなく、日本の国境を越えて、異なる文化、考え方、人々で溢れる世界に触れる機会を提供してくれました。

異なる世代の元 JET 参加者が、この同窓会を通して、この最も重要な両国間関係の明るい未来を祝うことを期待しています。ありがとうございました。